

(別表)

農薬取締法に基づく県内産施設栽培葉菜類における農薬使用基準違反の事案（平成22年4月以降）

産地	年度	時期	作物	検出成分	検出濃度 (ppm)	基準値 (ppm)	原因	備考
一関市	平成26年	12月	ニラ (施設)	殺虫剤成分 (メチダチオン)	—	—	使用時期の誤り (薬剤散布履歴の管理が不十分であったため、メチダチオン乳剤使用後、十分な日数を経過しないままニラの収穫を開始した。)	・出荷を中止 (安全確認後出荷再開) ・東北農政局のモニタリング調査において判明した事案 ※:メチダチオン乳剤のニラでの使用時期:収穫30日前まで
住田町	平成22年	12月	しゅんぎく (施設)	除草剤成分 (ベンディメタリン)	0.12	0.05	適用外使用 (しゅんぎくに作物登録のない除草剤を使用した。)	・自主回収を実施

※平成27年は上記のほか、排水路の除草作業の際に使用した除草剤が周囲の水稻に飛散した事例も確認されている。

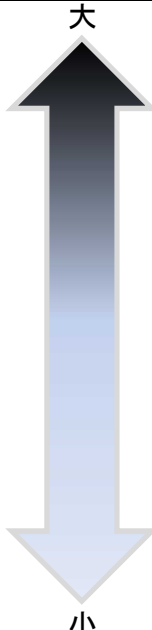
食品衛生法に基づく県内産農産物における農薬残留基準値超過の事案（平成22年4月以降）

産地	年度	時期	作物	検出成分	検出濃度 (ppm)	基準値 (ppm)	原因	備考
陸前高田市	令和2年	5月	ほうれんそう (施設)	殺虫剤成分 (エトフェンプロックス)	0.18	0.01	適用外使用 (ほうれんそうに適用のない殺虫剤を使用)	・保健所からの回収命令 ・回収命令対象外の出荷物の自主回収 ・出荷を中止
雫石町	平成29年	6月	ほうれんそう (施設)	殺虫剤成分 (フェントロチオン)	1.4	0.2	使用時期の誤り (収穫21日前まで使用可能な薬剤を、十分な日数を経過しないまま、ほうれんそうの収穫を開始した。)	・自主検査において残留農薬基準値超過を確認 ・自主回収を実施
八幡平市	平成28年	12月	しゅんぎく (施設)	殺虫剤成分 (ダイアジノン)	0.7	0.1	適用外使用 (しゅんぎくに作物登録のない殺虫剤を使用した。)	・保健所からの回収命令
九戸村	平成27年	12月	しゅんぎく (施設)	殺虫剤成分 (エトフェンプロックス)	0.03	0.01	特定できず (しゅんぎくに当該剤の使用実態がなく、適用外使用の可能性は低い。散布器具の洗浄不足が原因となった可能性は否定できない。)	・保健所からの回収命令 ・農薬使用履歴、栽培履歴の記録がなく残留基準値超過原因の解明が困難
一関市	平成27年	12月	ニラ (施設)	殺虫剤成分 (ダイアジノン)	0.4	0.1	使用時期、使用量の誤り (定植時にのみ使用可能な薬剤を生育期間中に使用した。また、薬剤処理量も使用基準を超過していた。)	・自主検査において残留農薬基準値超過を確認 ・自主回収を実施
奥州市	平成26年	11月	チンゲンサイ (施設)	殺菌剤成分 (クロロタロニル)	3.2	2	他の野菜の防除に使用したTPN水和剤 (成分:クロロタロニル) の残液が防除機タンクと散布ホースに残ったまま、チンゲンサイ用の別の農薬または液肥を調製し直して散布したため、TPN水和剤残液がチンゲンサイに散布されたものと推定される。	・保健所からの回収命令
盛岡市	平成24年	12月	しゅんぎく (施設)	殺虫剤成分 (フェンバレレート)	1.23	0.50	散布器具の洗浄不足 (他作物に使用した農薬が残存していた。)	・保健所からの回収命令
一関市	平成24年	12月	しゅんぎく (施設)	殺虫剤成分 (ジノテフラン)	23	20	散布器具の洗浄不足 (器具内に残存した農薬が長期間に渡って蓄積していた。)	・保健所からの回収命令
奥州市	平成22年	12月	しゅんぎく (施設)	殺菌剤成分 (ボスカリド)	0.04	0.01	散布器具の洗浄不足 (他作物に使用した農薬が残存していた。)	・保健所からの回収命令 ※現在のボスカリドの残留基準値は「40ppm」

施設栽培葉菜類における農薬残留基準値の超過対策として、特に留意が必要な事項

- 1 一般に、可食部重量の軽い作物ほど農薬の残留量が多くなるとされていることから、しゅんぎく、ニラ、チンゲンサイ等の葉菜類では、残留農薬が検出されやすい(農薬の残留量は、重量あたりで計算されるため)。
- 2 多重被覆栽培において、誤って被覆資材に薬剤が散布された場合、被覆資材に固着した薬剤が資材の内側に生じた結露等に溶出して落下し、作物体に付着する恐れがある。
- 3 施設栽培葉菜類での違反事例は、農薬散布器具の洗浄不十分が原因であることが多いことから、農薬散布器具の洗浄を徹底する。
- 4 上記のほか、薬剤散布履歴の記録など、産地における農業生産工程管理(GAP)の推進等の取組を一層強化する。

薬剤散布による作物タイプ別の残留農薬の検出リスク

残留農薬の検出リスク	作物の種類や形態	代表的な作物
 <p>大</p> <p>小</p>	軽量・小型の葉菜類 (軟弱野菜)	<u>しゅんぎく</u> 、 <u>ニラ</u> 、 <u>チンゲンサイ</u> 、こまつな、なばな類、みずな、サラダ菜、リーフレタス、だいこんの葉、葉ねぎ類、しそ、パセリ等
	さやも食べる豆類	さやえんどう、さやいんげん等
	軽量・小型の果実	うめ、すもも等 ピーマン、ししとう等
	果菜類	なす、トマト、きゅうり等
	重量のある葉菜類	たかな、からしな、のざわな等 レタス、はくさい、キャベツ等
	果実類	りんご、ぶどう、なし、メロン等
	穀類	稲、麦類、豆類
	地下部にある作物	いも類、根菜類の根部等

※社団法人日本植物防疫協会編 地上防除ドリフト対策マニュアル等を参考に作成